



WEEKLY REPORT

FUJIEDA ROTARY CLUB

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2620

第1530回

例会：毎週水曜日
小杉苑

藤枝市青木2-2-48
TEL 054-641-3321

事務局

藤枝市青木1-9-16
TEL 054-647-2300

FAX 054-647-2040

Bhichai Rattakul
RI President, 2002-03

2002-2003年度RIテーマ：慈愛の種を播きましょう

松葉会長テーマ：会員相互の友情と連帯を深めよう

会長：松葉義之 副会長：渡辺篤司 幹事：村松英昭 副幹事：小宮弘一郎



自分を忘れて人を助ける人生こそ
価値のある人生。

<ソング> 奉仕の理想

<ソングリーダー> 池ノ谷 敏正君

会長報告

松葉 義之君

本日は本年度最終の理事会を新旧合同にて開催いたしました。本年度の締めくくりと共に、次年度の活動が見えてきて感慨深いものがあります。

先月 22 日の静岡新聞に『藤枝子どもと本をつなぐ会』設立の記事が載っていました。“市内各所でボランティアの方達による多くのサークルや文庫が子どもの「読書推進活動」を進めており、相互の連携と協力により、持続的でより一層意義ある活動になることを願って設立された”と設立の趣旨が述べられていました。昨年 11 月 17 日の地区大会の記念講演『人間の時代への眼差し』で講師の柳田邦男氏は「21 世紀は人間関係の希薄化の時代、心の病が増加する中、親や先生、周りの人たちが子どもに本や絵本を読み聞かせ豊かな感性を育むことが今こそ大切」と話されました。

柳田先生も本を贈る活動を積極的に進めておられるとの事と合わせて心に強く残りました。

記事の内容に共感を覚え、さっそく市の図書館にお尋ねし資料をいただきました。役員に“01 年 9 月に「学童保育・放課後児童クラブ」の卓話をいただいた民生委員の三倉真理子様がおりました。

三倉様からお話を伺い一層この活動を支援す

る意義を感じ先週のテーブルバスセッションに取り上げていただきました。本日の理事会において追加事業としてご承認いただき嬉しく思います。

栗原年度より 3 年間の藤枝市子連への支援と同様社会奉仕、特に新世代のための支援を重要な活動として続けて行きたいと思えます。

5 月 29 日静岡新聞「この人」で紹介された新会長の相馬登美子さん（子ども文庫ピッピ主宰）も「人づくりに読書の必要性、本の面白さに気づけば誰でも本好きに、親も子も本に親しむ環境作りを」と云い、「一日も早い行政の認知を！」と述べていました。

私たちもそれまでの期間支援して行きます。「会」の活動がよりいっそう大きく広がって行くことを期待いたします。

理事会報告

村松 英昭君

6 月、7 月のプログラムが承認されました。

6 月 25 日最終夜間例会の予定が発表され承認されました。

新入会員、岩崎四郎君、飯塚秀彦君の入会が承認されました。

再入会員、酒向謙次君の再入会が承認されました。

IT推進、メールアドレスの状況及び会報ペーパーレス化への進行状況が発表されました。新年度予算案が承認されました。

新テーブルメイト編成が承認されました。藤枝子どもと本をつなぐ会への支援が承認されました。松葉年度より始まり3カ年の支援です。支援額は毎年5万円です。小林治助君の退会が承認されました。新年度より名誉会員へ推薦され、承認されました。

幹事報告 村松 英昭君

5月28日テーブルバスセッションのまとめ

テーマ1 当クラブの奉仕プログラムについて

1. 現状のプログラムの見直しについて

- 職業奉仕で行っている藤枝学習会卒業生に辞書を贈る事業は社会奉仕の事業である。
- 新世代における各スポーツ大会への助成金はすべて均一に。南クラブとの同一の大会への助成がないように、両クラブで話し合いを。
- 社会奉仕としては、藤枝子どもと本をつなぐ会へ、年5万円を3カ年支援したらどうか。

2. 新たなプログラムの見直し

- 女性への支援を考えた事業を。
 - ガバナー方針を考慮した活動。
- 前任委員長と後任者との十分な話し合いを。

テーマ2 ロータリークラブの知名度を高めるために

- 新聞、テレビ等のメディアを使い活動状態を取り上げてもらうよう努力を。
- 新世代が行っている各種スポーツ大会においてロータリーをはっきりした形で知っていただく。
- 開会式には例会日変更をし、全員出席をはかる。
- ロータリーの友を広報に役立てる。公共機関等に置く。

- 奉仕活動出席は、ロータリーの帽子、タスキを着用する。

出席報告

平田 宗太郎君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
32 / 46 69.57%	32 / 46 69.57%

- (1) 欠席者（事前連絡とメーカーキャップをそうぞ）
浅川君 大塚君 櫻井富君 松寄君
松葉隆君 村松宏君 仲田晃君 仲田廣君
橋本延君 橋本守君

ビジター

富澤静雄君（藤枝南）

スマイルBOX 小宮 弘一郎君

昨年暮に、体調を崩し十分なRC活動が出来かねますので、六月末で退会させていただきます。村松徳会長年度に入会させていただきます。18年間たいへんお世話になりました。ありがとうございました。退会はしますが今後共、どこかでお会いしましたら“やあ”と声を掛けていただければ幸いです。ほんとうにありがとうございました。村松弘一郎君31年間お世話になりました。クラブの増々の発展をお祈りします。ニコニコの目標達成に協力します。小林治助君長らくお待たせいたしました。

会員誕生祝、ありがとうございました。

鈴木舜光君

夫人誕生、妻は1940年(昭和15年)の誕生で同じ年で小宮・鈴木廣利両君がいらっしゃいます。ですからもう年です。そこで一句“幼き日母と歩きし安倍の道、還暦過ぎし妻と歩みぬ”
望月 晃君

スマイル累計額 984,628円

四苦八苦と言う言葉をよく耳にしますが、これもどうやら仏教から来た言葉のようです。



「愛別離苦（あいべつりく）」

愛する者と別れなければならない苦

「怨憎会苦（おんぞうえく）」

怨み憎む人と出会わなければならない苦

「求不得苦（ぐふとくく）」

求めても得られない故の苦、すなわち希望が達せられない事から起こる苦

「五陰盛苦（ごおんじょうく）」

視覚、認識などの心理作用が盛んになるゆえに沸き起こる苦惱

四苦八苦の悩み

仏教には「四苦八苦」という言葉がある。「生、老、病、死」が人生最大の苦しみ四苦（しく）で、そこに「愛別離苦」「怨憎会苦」「求不得苦」「五陰盛苦」を加えて八苦（はっく）になる。

生きる苦しみ

人間に限らず、生命は他の命を奪わないと存在出来ない。植物だって生命がある。生きていれば必ず大なり小なり殺生をすることになる。そして、他の生命を奪い続けて生きるのだが、永遠に生きられるわけでも無い。ならば、生まれること、生きることは最高の罪であり苦である。

老いる苦しみ

長く生きると年齢とともに身体が衰える。頭髮は白くなり、あるいは抜け落ち、歯も抜け、顔や身体は皺だらけになる。身体も曲がり、手足も自由に動かなくなる。多少の個人差はあるが、誰でもやがては老いる。

病の苦しみ

人間は必ず病気をする。若くたって細菌やウイル

スに犯される。肉体を持っている以上、誰でもいつかは病気をする。しかも色々な病気があって、治るものもあれば治らないものもある。

死の苦しみ

他の生命を奪い続けて維持した命も、いつかは終わりが来る。必ず死ぬときが来る。どんな手段を使っても、死ぬことは避けられない。どんなに頑張っても永遠に生きることは出来ない。

愛別離苦

生きてると色々な人と関わる。親子、兄弟、恋人、友人、色々な関係が出来る。そして、ある人をとても好きになったり、愛情をもったりする。一緒にいることが嬉しい関係が出来る。しかし、好きな人と永遠に一緒にいられるわけではない。必ず離れる時が来る。

怨憎会苦

反対に、世の中にはとても嫌な人もいる。顔も見たくない、口もききたくない、そばに居て欲しくないと思う相手が出る。しかし、時にはそんな嫌いな相手と過ごさなければならない時がある。

求不得苦

財産、地位、名誉、知識、技能、友人、恋人、人間には色々欲しい物が出来る。でも、すべてが思いのままに得られる訳ではない。むしろ得られないことの方が多い。

五蘊盛苦

結局、人間には色々備わっているから苦しみもある。肉体があり（色）、感受性があり（受）、心があり（想）、意思があり（行）、知覚する（識）から、色々悩みも起きてくるのだ。

現代の我々が抱えるおよそ全ての悩みも、この四苦八苦にあてはまる。複雑に見えても、根本をつきつめればこの八つのどれかに当てはまる。この悩み、苦しみは生きて以上、避けられない苦なのである。それが現実なのだ。

（担当 / 平井）